



新型コロナワクチン接種にかかる 使用方法の誤りについて

河内長野市では、新型コロナワクチン接種について、医療機関での接種を行っているところですが、下記の通り誤った使用方法により接種したとの報告がありました。

当日接種された皆様、並びに市民の皆様、関係者の皆様にはこころよりお詫び申し上げます。

日 時 : 令和3年5月31日(月)

対象者 : 12名

【概要・原因】

市内医療機関において、希釈手順に誤りがあった。ファイザー社製ワクチンの手順上、冷蔵庫から取り出した後、希釈する前に室温に戻す必要があるが、冷蔵庫から取り出した後、室温に戻さず希釈したワクチンが1バイアル。室温に戻したワクチンは再冷蔵せずに希釈する必要があるが、室温に戻したワクチンを再度冷蔵したのち希釈したものが1バイアルあった。

結果、誤った手順で希釈したワクチン(2バイアル)を12名に接種してしまった。

接種した12名については特定できており、接種後の副反応や体調の変化等は、今のところありません。

【対応】

誤って接種を行った12名については、引き続き健康観察を行うとともに、今後の接種については、大阪府を通じて国へ報告を行います。

【対策】

接種医療機関へファイザー社製ワクチンの取り扱い方法を早急に再度通達します。

ワクチンの取扱について、複数人で確認するよう医療機関へ周知します。

問い合わせ : 河内長野市 市民保健部 健康推進課

☎0721-53-1111